

つなぐ



袋井特別支援学校
支援連携課便り ②
令和7年10月30日

朝晩の冷え込みが増し、すっかり秋らしくなってきました。修学旅行や宿泊学習などの行事が盛りだくさんの季節です。来月11月には、全校で取り組む『光る子まつり』が開催されます。児童生徒にとって、学びの多い学校生活となるよう一層の支援に努めています。

「つなぐ」第2号となる今回は、放課後等デイサービスや地域の幼・小・中・高等学校との関わりの様子をお知らせします。

特別支援教育コーディネーターより

特別支援学校には地域全体の幼児、児童、生徒が抱える教育上の課題について、特別支援学校が持つ専門的な知識や経験を活かして相談・助言を行う役割があります。袋井市内だけでなく、磐田市、森町など学区内すべてのこども園、小中高等学校も対象です。（特別支援学校のセンター的機能と言います。）

本校も、特別支援教育に関する悩み事や困り事の相談に応じています。今年度は9月現在、昨年度を大幅に上回る39件の要請があり、訪問しています。

また、必要に応じて相談支援事業所や市町福祉課、放課後等デイサービス、医療機関とも連携をしています。今後も本校の児童生徒、保護者の皆様が地域で安心して生活していけるよう、サポートしていきます。



<袋井特別支援学校センター的機能のイメージ図>

保護者相談窓口「つなぐ」

本校では、保護者のみなさんの悩みや心配事の相談窓口として「つなぐ」を開設しています。学校や家庭での様子、心身の発達のことなどについての相談活動をとおして、保護者の皆様が安心して子育てに向かえるようサポートしています。下記QRコードよりお気軽に御相談ください。（秘密は守ります。）<申込QRコード>



<https://forms.gle/VCK14jEujF9TokXu5>

放課後等デイサービスとの連携

毎週木曜日、放課後等デイサービスの有志の方が、安全のため、横断歩道に立ってくれています。引き続き安全な引き渡しが行えるよう、保護者の皆様の御協力のもと連携を確実にしていきます。放課後等デイサービスの利用は、保護者と事業所との契約で成り立っています。学校としても、保護者⇄事業所、行い、これからもスムーズな引き渡しが行えるよう日々努力していきます。

<保護者の皆様にお願ひ>

本校の年間予定を確認し、下校時刻を放課後等デイサービス事業所に伝えてください。短縮日課や行事で下校時刻が通常と異なることがあります。また、放課後等デイサービス事業所で利用するものについては、荷物の取り間違い防止、保管スペース等の観点から、学校に保管することは遠慮いただいております。放課後等デイサービス事業所で利用する荷物については、家庭でその都度記名した別袋に入れて、リュックに入れるなどして持たせてください。荷物が多い場合は、直接各自で放課後等デイサービス事業所に届けるなどの配慮をお願いします。利用日を確認し、ノートへの記載をお願いします。振替休日の翌日の利用日は間違いやすいので御注意ください。

<放課後等デイサービス事業所にお願ひ>

いつも安全な引き渡しや横断歩道の誘導の御協力ありがとうございます。引き渡しの際は、学年の教員に児童生徒の学年と名前を伝え、児童生徒を引き受けてください。また、中庭と肢体レーンに駐車時は、名札の着用や車のダッシュボードに施設名を記入した許可証を外から見えるように置いてください。先発・後発と引き渡し時間が異なります。駐車場の混雑解消のため、時刻を確認して児童生徒の引き渡しをお願いします。



地域資源を生かした学習活動

近年では、学校・家庭・地域が連携・協働し、社会全体で学校や児童生徒の成長を支える取り組みが推進されています。本校でも、地域での活動をとおして児童生徒が自信を深めると共に、児童生徒の良さを地域に伝えることを目的とし、地域資源を生かした学習活動を行っています。

小学部では、7月にギター愛好会「かがやき」さんの演奏を5年生が聴いたり、一緒に歌を歌ったりしました。中学部では、昨年に引き続き、地域の公園や集会所、紅紫菰、子育てセンターにじいろ、袋井体育センター他を清掃しました。また、作業班では、手芸班がきぼう館の掲示を作ったり、陶芸班が東海アクシス看護専門学校に植木鉢を渡したり、縫工班が袋井南中に作業製品を渡したりしました。高等部では、1年生が袋井高校の美術部・書道部と一緒に合同作品を作ったり、袋井高校の文化祭で製品展示をしたりしました。印刷紙工班や木工班では、ノブレスパークの無印良品やあえるもん、きぼう館などで展示とモニター調査をさせていただきました。

今後の活動については、ホームページなどで紹介していく予定です。

ホームページ QR コード



交流及び共同学習



学校間交

全学年での交流がスタートしています！
詳細は次号でお伝えします。

●小学部の交流			
本校学年	交流校・学年	実施日	内容
1年生	高南小 1年生	10月3日（金） 10月20日（木）	高南小でグループに分かれてじゃんけん列車に参加 本校で実施予定
2年生	高南小 2年生	10月2日（木） 11月13日（木）	高南小でグループに分かれて玉入れに参加 本校で実施予定
3年生	袋井南小 3年生	10月15日（水）	袋井南小で光る子音頭を踊り、グループに分かれて 南小クイズに参加
4年生	高南小 4年生	10月14日（火） 11月27日（木）	高南小でグループに分かれてゲームコーナーを体験 本校でグループに分かれてゲームコーナーを運営
5年生	浅羽北小 5年生	10月9日（木） 11月19日（水）	浅羽北小でモルックとボウリングに参加 本校で実施予定
6年生	高南小 6年生	10月10日（金） 12月18日（木）	高南小でじゃんけん列車と高南小クイズに参加 本校で実施予定

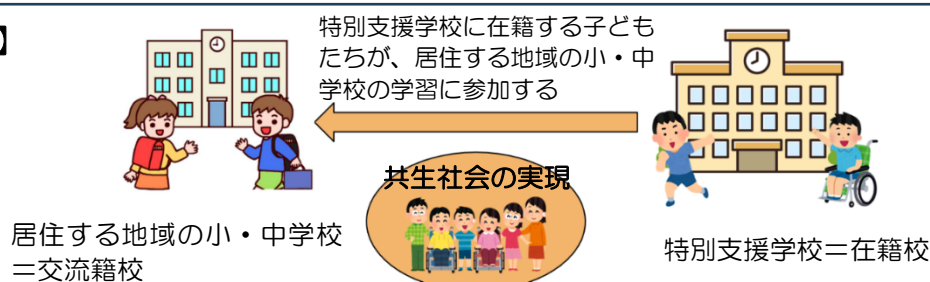
●中学部の交流			
本校学年	交流校・学年	実施日	内容
全学年	袋井南中 3年生 1グループ	9月19日（木）	各校が考えたレクリエーション活動
1年生 3年生	袋井南中 2年生	10月8日（木）	袋井南中2年生の合唱コンクール中間発表の鑑賞

●高学部の交流			
本校学年	交流校・学年	実施日	内容
全学年	袋井高校 文化祭	5月30（金） 5月31（土）	間接交流 本校高等部の紹介パネル、自主生産作業製品の展示
1年生	袋井高校 美術部・書道部	6月27日（金）	美術・書道作品の共同作品
全学年	袋井商業高校 吹奏楽部	11月28日（金）	吹奏楽部によるコンサート
全学年	袋井商業高校 袋商ショップ	12月13（土） 12月14（日）	間接交流 本校高等部の紹介パネル、自主生産作業製品の展示

「交流籍」を活用した交流及び共同学習

「交流籍」を活用し、特別支援学校の児童生徒が、居住する地域の小・中学校での交流及び共同学習を行います。今年度は、小学校22校、中学校7校で実施中です。

【仕組み】



【交流籍とは】

特別支援学校の児童生徒に対する「地域の子ども」としての周囲の理解をこれまで以上に深めることを目指し、居住する地域の小・中学校に副次的な籍を置いています。この副次的な籍を静岡県では「交流籍」と呼んでいます。

【目的】

「交流籍」を活用した交流及び共同学習では、障害のある児童生徒と障害のない児童生徒と一緒に参加し、相互の触れ合いを通じて豊かな人間性を育む交流の側面と、教科等のねらいを達成する共同学習の側面を目的にしています。（特別支援学校学習指導要領総則より）障害のない児童生徒は、豊かな人間性、心のユニバーサルデザイン、心のバリアフリーを育み、障害のある児童生徒は、地域との関係を深めることや、地域・社会で自立できる自信と力を育むことができます。

【活動内容】

学級活動などで、ボウリング、ボッチャ、フルーツバスケット、交流籍校児童が考えたレクリエーションに取り組みました。また音楽では、隣の交流籍校児童が見る教科書と同じページを開いたり、リコーダー演奏を聴いたりしながら参加する姿が見られました。実施数や実施した感想は、次号でお伝えします。